



今年も良い年でありますように（1月1日、二宮神社で）

「後期基本計画(案)」 3か年計画を策定

あきる野市総合計画は、市の施策の方向性を定めるものとして、平成13年3月に策定しました。総合計画のうち、前期基本計画は平成22年度で計画期間が終了することから、新たに後期基本計画を策定します。このたび作成した後期基本計画(案)について、多くの皆さんの意見を参考として計画に反映させていきます。

総合計画は、基本構想と基本計画から構成されています。基本構想は、平成32年度を目標年次とし、将来都市像である「人と緑の新創造都市」の実現に向けたまちづくりの方針を定めています。前期基本計画は、平成22年度までの10年間を計画期間とし、各分野の具体的な施策を定めています。この前期基本計画は、平成22年度で計画期間が終了することから、社会経済情勢の変化や具体的施策の進捗状況などを踏まえた上で、後期基本計画(案)を作成しました。

成22年度で計画期間が終了することから、社会経済情勢の変化や具体的施策の進捗状況などを踏まえた上で、後期基本計画(案)を作成しました。

措置などの状況変化や経済の低迷に伴う市税などの歳入の減少、行政改革の取り組みの効果や検証などを踏まえ、平成25年度までの3か年の計画としました。

後期基本計画を策定するための基本方針

環境都市あきる野の実現
協働のまちづくり
行政改革の更なる推進

近年、地方自治体には、世界的な課題である地球温暖化防止や生物多様性の保全などに対する積極的な取組みが求められていす。また、地震や気候変動に起因すると思われる自然災害、超高齢社会への対応など、行政だけではなく市民と協力しながら取り組む課題も増えています。さらに、多様化する市民ニーズに的確に対応するためには、行政力の強化は欠かせません。一方、生き生きとした活気あるまちづくりを進めるためには、地域産業の振興による地域経済力の強化が必要であるため、東京都との連携により秋川高校跡地や武蔵引田駅周辺地区などの新市街地での計画的な企業立地の誘導が不可欠です。この

ようなことを踏まえ、計画(案)を作成しました。計画(案)の内容

皆さんのご意見の反映は

計画(案)の閲覧場所
情報公開コーナー(市役所4階)、企画政策課、五日市出張所、中央公民館、市内各図書館
市ホームページにも掲載しています。



意見の提出方法など
提出方法 2月7日(月)までに、A4用紙などに意見と住所、氏名、電話番号を記入し、送付してください。

1月15日号の主な記事

- 都市計画マスタープラン改定... 2面
- 市・都民税の申告と所得税の確定・還付申告... 3面
- 郷土の恵みの森づくり事業基金を創設... 4面
- 大腸がん予防講座... 5面
- 子育て講座... 6面
- 子育て支援「るのキッズメール」を配信... 8面

世帯と人口

平成23年1月1日現在

世帯	33,196世帯
人口	81,916人(前月比 30人増)
男	40,998人
女	40,918人

表 後期基本計画(案)の主な施策

都市整備分野	武蔵引田駅周辺地区での新市街地の形成 市営住宅ストック総合活用計画に基づく市営住宅の更新 アダプト制度を導入した市民参加による公園緑地の管理 など
産業振興分野	東京都と連携した秋川高校跡地などへの企業立地の誘導 商工業者の支援 遊休農地の利用集積などによる有効利用の促進 多摩産材(秋川産材)の利用拡大の推進 など
生活環境分野	災害時要援護者の避難誘導対策の推進 防災・安心地域委員会等の活動への支援 地域防災リーダーの育成 地球温暖化防止対策の推進 郷土の恵みの森づくり事業の推進 など
保健福祉分野	ふるさと農援隊事業の推進 介護者の負担軽減のための支援 ホームドクターなどの必要性の啓発 ファミリー・サポート・センター事業の充実 など
教育・文化分野	放課後子どもプランの推進 学力向上対策の推進 小中一貫教育の推進 子どもの安全確保の推進 スポーツ祭東京2013(東京多摩国体)の開催 など
行財政分野	自主財源の確保に向けた取り組み 危機管理体制の整備 協働のまちづくりのあり方の構築 市政情報の共有化 など